

NGV Information

天然ガス自動車

【発行】東邦ガス株式会社 都市エネルギー営業部 【制作協力】名古屋市環境局地域環境対策部大気環境対策課

》》 2019年度の天然ガス自動車導入補助 確定 《《

- 詳細は各ウェブサイトでの確認や東邦ガス(株)へお問い合わせください。取得条件にはご注意ください。
- 受付期間内でも予算限度額に達したときは終了します。

■環境省～低炭素型ディーゼルトラック等普及加速化事業～

申請時期	2019年4月下旬～2020年1月31日
車両の登録時期	2019年4月1日～2020年1月31日
補助額	通常車両価格との差額 CO ₂ 削減量10%:1/2 CO ₂ 削減量5%:1/3
対象	運送事業者(中小事業者)

■国土交通省～地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業～

申請時期	2019年9月2日～2019年9月27日
車両の登録時期	2019年4月1日～2019年12月31日
補助額	通常車両価格との差額の1/3
対象	運送事業者等

■全日本トラック協会～環境対応車導入促進助成事業～

申請時期	2019年4月1日～2020年1月31日
車両の登録時期	2019年4月1日～2020年3月13日
補助額	価格差の1/6(25t:定額100万円)
対象	トラック協会所属の運送事業者 (原則、国の補助金を併用)

■愛知県トラック協会～低公害車(環境対応車)導入促進助成～

申請時期	2019年5月10日～2020年1月17日
車両の登録時期	2019年4月1日～2020年2月28日
補助額	5月中旬頃に発表
対象	愛知県内の認可営業所に配置する 車両を導入する会員事業者

■愛知県～先進環境対応自動車導入促進費補助金の概要～

申請時期	2019年4月1日～2020年3月16日
車両の登録時期	2019年4月1日～2020年3月31日
補助額	補助対象経費の1/3
対象	貨物運送事業者*1等の緑ナンバー *1 愛ト協に加入していない事業者、中小企業等の白ナンバー

■名古屋市～最新規制適合自動車代替促進事業～

申請時期	2019年4月1日～2020年3月2日
車両の登録時期	交付決定日～2020年3月19日
補助額	バス:15～35万円、トラック:10～50万円
対象	名古屋市内に事業所を有する中小企業等で車両の入れ替えに伴う場合

東邦ガス広告掲載制度

天然ガス車両を導入されたお客さままで下記条件を満たしている場合、当社から補助が出る場合がございます。

【適用条件】

- ・ 2019年度内(2019年3月21日～2020年3月20日)に初度登録・納車され当社の供給エリア内に使用の本拠地を置くもの。
- ・ ただし、大型トラックは当社の供給エリア外で登録される場合も一定条件により対象。
- ・ NGVシンボルマークまたはそれに準じた天然ガス自動車PRの表示を2箇所/台以上に貼付。
- ・ 当社が発行するパンフレット等への掲載に承諾。
- ・ 申込書および実績報告書類(車検証コピー・写真等)の提出。
(1台につき1枚必要。実績報告書類は2020年3月20日必着。)
- ・ 中古車は対象外。

<注意事項> 受付期間内でも予算限度額に達したときは終了。

支払額

- 大型トラック(供給エリア内) 80万円/台
- 大型トラック(供給エリア外) 30万円/台
- 小型・中型トラック(含ハイエース)、バス 15万円/台
- 乗用車、小型バン、軽自動車 5万円/台



アキタ株式会社さま

いすゞ大型CNGトラック披露会

アキタ株式会社さま(本社:愛知県名古屋市、社長:加藤誠)は、愛知県初(*1)となる大型CNGトラック「いすゞ GIGA Gカーゴ」を導入し、2019年3月16日同社萩原営業所(愛知県一宮市)にて披露会を開催しました。同社では「環境」「経済性」「エネルギーセキュリティ」の各観点より、同社にとって初めてのCNG車となる大型CNGトラックの導入を決定されました。

出席者は、関係官庁や関連団体・荷主・マスコミ各社など総勢40名を超えました。式典は、加藤社長の挨拶から始まり、中部運輸局愛知運輸支局さま・いすゞ自動車販売株式会社さまのご挨拶、いすゞ自動車中部株式会社さまからゴールドキー・記念品の贈呈、来賓の皆さまによるテープカットが行われ、終始あたたかな雰囲気での式典となりました。

今回導入された車両は、4月から中部と関西を結ぶ幹線輸送に使用されるため、発着地のエネルギー事業者2社(大阪ガス株式会社・東邦ガス株式会社)のCNG車導入促進制度を初めて同時利用される事例となりました。また、鮮やかなボディプリントは、同社の「輸送を通じ暮らしを支えるライフライン」として重要な役割を果たす上で、当然のように環境へも配慮した活動をおこなう」ことの象徴であり、同社の夢へのチャレンジを加速させるものです。

同社は、この車両でコストと環境への効果を検証し、今後も環境優良車の積極導入を計画されています。大型CNGのデザイントラックが、「同社の理念」と「あいちの環境(愛知県の環境に対する取組み)」を乗せて走ります。

(*1):名古屋陸送株式会社も2018年度1台導入。



ご挨拶される アキタ株式会社 加藤社長さま

出席官庁・企業

- 国土交通省中部運輸局 愛知運輸支局
- 愛知県環境部
- 一宮市環境部
- 一般社団法人愛知県トラック協会
- 佐川急便株式会社
- SGモーターズ株式会社
- 大阪ガス株式会社
- いすゞ自動車販売株式会社
- アキタ・コーポレート・サービス株式会社
- いすゞ自動車中部株式会社(協賛)
- 東邦ガス株式会社(協賛)
- アキタ株式会社(主催)

センコー株式会社さま

実際に天然ガストラックを使用されている ドライバーさんへのインタビュー



センコー株式会社三重支店さまは、2017年4月にギガCNG車を東海地方で初導入され、3年目を迎えました。今回、大型CNGトラックを1年以上にわたって実際に運転されている奈須さまにインタビューを行いました!

実際に大型CNGトラックに乗った感想は?

非常に静かで振動も少ないので長時間運転しても疲れにくいです。嫌な排気臭がないのもいいところですね。以前中型CNGトラックに乗ったことがありましたが、今回、燃料計も見やすくなり、また居住性もよくなりました。

走行性能の満足度は?

これまで大きなトラブルはありません。低速域でのトルクは若干弱いので、アクセルは踏み気味で走る必要がありますが、事前にいすゞ自動車さんから大型CNGトラックの特性として説明を受けていたため、あまり問題とは感じていません。一方、高速走行時は、ディーゼル車と比べて遜色なく、快適です。

周りの反応は?

荷降ろしを始めると、NGVのステッカーを見た荷主さまのほとんどは「NGVって何?」とびっくりされています。みなさまに当社の環境への取組みを知ってもらう看板車として大活躍しています。家では子供たちに天然ガスで走るトラックに乗っていることを自慢したこともあります(笑)。



ガソリンでも走れる天然ガス自動車 バイフューエル車 導入ストーリー

天然ガス自動車のメリットをそのままに、これまで以上に安心してご使用いただける「バイフューエル車(CNG／ガソリン併用)」を導入された各事業者さまをご紹介します。

株式会社朝日機器エンジニアリングさま「向上心こそAKEのエンジン(A:朝日、K:機器、E:エンジニアリング)」

株式会社朝日機器エンジニアリングさま(愛知県名古屋市 代表取締役社長 三浦良友さま)は、全国に12拠点を構える空調のリーディングカンパニーです。昨年度、創立50周年を迎えられました。確かな技術力と提案力に加えて、品質管理、環境保全、人材育成にも力を注がれています。今回、環境対策と事業継続性の向上を狙って、バイフューエル車導入を決定されました。

導入事業者の声 株式会社朝日機器エンジニアリング 執行役員 サービス事業部 副事業部長 奈須克則さま

当社は環境保全について、空調機器を取り扱うメーカーとして、<地球に優しく、人に優しく、資源にも優しい・・・そんな企業でありつづけていく>ことを基本方針として掲げております。CNG車の卓越した環境性は、そんな環境対策に一役買うものだと思っております。加えて、災害時の事業継続力を高めるひとつの手段として、バイフューエル車の導入を決定しました。第一号車は、2019年4月に納車されました。今後も車両更新のタイミングで順次導入を進めていくつもりです。



株式会社山田商会さま「LOHAS WITH GAS」環境・エネルギーの面から、人間・地球にとって良いことを

株式会社山田商会さま(愛知県名古屋市 代表取締役社長 清水順二さま)は、地域に根ざしたインフラ事業に携わる企業として、ガスとともに、お客様に快適な生活空間を提供されています。2019年には、創業113年を迎えられますが、いつの時代にあってもお客様、社会、従業員等全てのステークホルダーの価値向上を大切にされている企業さまです。2019年度、7台のバイフューエル車を新規導入されました。

導入事業者の声 株式会社山田商会 代表取締役社長 清水順二さま

当社では、平成7年に初めてCNG車を導入したことを皮切りに、CNG車のメリットを生かしながら、率先して導入してまいりました。現在、名古屋市内を中心に30台超のCNG車が当社ガス工事に携わっております。これからも環境に優しい地域社会づくりに貢献するため、積極的にCNG車を導入し、ガスインフラを担う企業の一員として活動してまいります。



名古屋市さま

名古屋市さまは、市民・事業者の皆様に対し低公害・低燃費車の導入を働きかけるとともに、自らも「公用車への低公害・低燃費車の導入方針」に基づき、環境にやさしい車両の導入を進めています。特に、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車をはじめとする次世代自動車については、強く導入を推し進めており、街中を走るごみ収集車などについて導入を進めています。2018年度には、環境保全の観点から、CNGダンプトラック1台のほか、バイフューエル車を4台導入されました。(2019年度も増車)

導入事業者の声 名古屋市環境局 地域環境対策部大気環境対策課長 重本泰範さま

自動車は日々の仕事や暮らしに欠かせないものですが、大気汚染や地球温暖化といった環境問題のひとつの原因にもなっています。

名古屋市役所も多くの自動車を使う事業者であり、率先して環境にやさしい自動車利用を進めています。今回導入したバイフューエル車は、利便性と環境性能をバランス良く併せ持った車両であり、実際に使用している職員からの評判も良いです。今後も、天然ガス自動車をはじめとする次世代自動車の導入・啓発活動を進めてまいります。



環境にやさしい天然ガスで走る 移動天文車「きらら号」CNG 容器交換で継続使用へ

四日市市立博物館さま所有の移動天文車「きらら号」をご紹介します。
「きらら号」は、20センチ屈折クーデ式望遠鏡をのせた移動天文車です。めざす星がどの方向にあっても、常に観測者の眼の位置は変わらないしくみです。楽な姿勢で星を眺めることができるので、大変人気で、市内各地で天体観望会をおこなっています。

今回、CNG 容器が使用期限の15年に近づいたため、CNG 容器を交換され、引き続き車両を使用されることになりました。

四日市の美しい星空をたくさんの方にお届けするため、これからも「きらら号」は活躍します。

天然ガス自動車に搭載されているタンク(ガス容器)は、高圧ガス保安法により容器製造時より15年を超えて使用することができませんが、新品タンクへの載せ替え(交換)により車両を継続して使用することができます。



NGVフォーラムミニ研究会

「2018年度 天然ガス自動車フォーラムミニ研究会」(2019年3月1日)が開催され、13社22名の方が参加されました。今回は、天然ガス自動車へのバイオガス利用に関する知識を深めるために、神戸市さまに「神戸市東灘処理場(下水処理場)」をご案内いただきました。

神戸市では、下水に含まれるエネルギーの有効利用のひとつとして、下水処理の過程で発生する消化ガス(メタン約60%、二酸化炭素約40%)を精製し、メタン濃度を約98%まで高めた「こうべバイオガス」を天然ガス自動車の燃料として供給しています。この取り組みは2008年から開始しており、市バス、トラック、乗用車など多く天然ガス自動車が利用しています。ミニ研究会当日は、市バスへのバイオガス充てん等を見学しました。

カーボンニュートラルのバイオガスを天然ガス自動車で有効活用することにより、ガソリン車やディーゼル車と比べてCO₂を大幅に削減することができ、地球温暖化対策に貢献しています。

天然ガス自動車に関するお問い合わせ

東邦ガス(株) 都市エネルギー営業部 営業第一グループ(天然ガス自動車担当)
〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18 TEL 052-872-9356 FAX 052-872-9766

